



平成 28 年 5 月 9 日

各 位

会社名：株式会社 三城ホールディングス

代表者名：代表取締役社長 多根 裕詞

(コード：7455 東証第1部)

問合わせ先：常務取締役 ファイナンス担当 中塚 哲郎

(TEL. 03-5781-6032)

通期業績予想の修正及び営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 5 月 15 日に公表しました通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、平成 28 年 3 月期における営業外費用（為替差損）の計上についても併せてお知らせいたします。

記

1. 平成28年3月期 通期連結業績予想数値の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	54,958	943	1,105	500	9.71
実 績 (B)	53,727	269	174	△ 601	△ 11.69
増 減 額 (B) - (A)	△ 1,230	△ 673	△ 931	△ 1,101	
増 減 率 (%)	△ 2.2	△ 71.4	△ 84.2	—	
(ご参考)前期連結実績 (平成27年3月期)	54,342	175	635	198	3.85

修正の理由

売上高におきましては、不採算店の整理を進めつつ既存店のリニューアルを行うなど底上げに取り組んでまいりましたが、消費税率引き上げ以後の客数の伸び悩みは改善せず、通期予想を下回る見込みとなりました。また、売上高に連動する販管費は減少したものの、売上高が下回った金額を補うには至らず、営業利益も予想を下回る見込みです。

さらに、為替差損の計上などもあり、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに予想を下回る見込みです。

2. 為替差損の計上について

外国為替相場の変動により、平成 28 年 3 月期連結累計期間において、為替差損 200 百万円を営業外費用に計上いたしました。これは主に期末日（平成 28 年 3 月末）時点における外貨建資産を同日の為替相場で評価したことによるものです。

なお平成 28 年 3 月期の期末配当予想（1 株につき期末配当金 9 円）につきましては、変更はございません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上